

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
平成 22 年度 第 7 回常任理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 22 年 9 月 27 日 午後 6:30～午後 8:20
- 2.開催場所 日本大学経済学部本館 2 階会議室
- 3.理事総数 10 名
- 4.出席者数 6 名（書面表決書 1 名）  
出席者（佐藤文宏、保原幸夫、山西哲郎、宇佐美彰朗、野口勝宏、高橋慎一 敬称略）  
書面表決書（岡田英孝 敬称略）  
補助職員（小貫純也、出口耕大 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

第 1 号議案 前回常任理事会（9 月 2 日開催分）議事録に関する件（報告）  
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。

第 2 号議案 議事録署名人の指名について（報告）  
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と野口勝宏氏が選出された。

第 3 号議案 「2010メルボルンマラソン」について（報告・審議）  
保原氏より進捗状況について報告があり、今後の進め方について審議を行った。

■ 申し込み状況

- ・最終的に日本事務局への参加申込者数は 39 名となった。その他に直接本部に申し込んだことがわかっている人が 3 名いるので、日本からの参加者は 42 名である。
- ・なお、宇佐美氏は脚を故障されたため参加を見送ることになった。

■ 各社ツアーの状況

- ・募集ツアーとしては、DOG が 6 名、JTB は 2 名で合計 8 名のみだった。
- ・手配旅行としては野口理事グループ 15 名がオズ・プロジェクト手配のツアーとなる。
- ・その他は個人手配と思われる。

■ 日本事務局収支予算

- ・収入側としては参加者が 50 名に達しないため、本部からの追加補助金 \$ 4,000 がなくなるが、DOG から事務局経費約 11 万円を協賛金として出して頂けることになった。
- ・支出側としては HP 作成費を半額の 5 万円にして貰えることになった。また、宇佐美氏が参加できなくなったことで旅行代金約 20 万円が不要になった。
- ・その結果、収支としては約 10 万円の赤字になりそうである。
- ・オフィシャルツアーを担当した高橋氏の海外旅行開発に協賛金について検討をお願いしている。

#### ■現地での活動

- ・参加者に対して大会までの注意事項および大会情報をまとめた「2010メルボルンマラソン大会ガイド」を作成して、事前配布した。
- ・モーニングラン、完走パーティについては、宇佐美氏が参加できなくなったので、野口氏、雨宮氏で対応して頂くことにした。
- ・日本人向けの専用デスクは観光局の岩崎氏とアルバイトの女性で対応して貰う。

#### ■オフィシャルツアーの反省と今後の対応

高橋氏よりオフィシャルツアーが集客0だった原因分析および今後の対策について説明があり、内容について審議を行った。

原因としては、各社に分散したことが挙げられた。次回には、1社のみで募集し分散を防ぎ、告知方法を再検討すべきとの意見が出された。

#### 第4号議案

「2011アラフラゲーム」、「アラフラクラブ」について（報告・審議）

山西氏より9月21日に行われた第5回幹事会の報告があり、今後の進め方について審議を行った。

#### ■募集チラシについて

岡田（英）氏が作成した案について審議し、下記項目を決定した。

- ・種目ごとの参加条件をより詳細に記載し明確化を図る。
- ・旅行代金は岡田（繁）氏の見積額を参考額として提示する。
- ・アラフラゲームは参加費無料だが、当協会の活動資金として一般5000円、学生3000円の参加費を徴収する旨、理事会の承認を受ける。

#### ■参加費

- ・アラフラゲームが参加費無料なのに参加者から「参加費」として徴集するのは問題があるので、「事務経費」として徴収することにする。
- ・旅行代金はあくまで参考料金とし、参加者確定後に競争見積りを行った方が良いのではないかとの意見が出された。

#### 第5号議案

「2011市民ランナー交流セミナー」について（報告・審議）

山西氏より東京マラソン法人の帖佐理事長との折衝内容について報告があり、今後の進め方について審議を行った。

#### ■東京マラソンとの共催について

東京マラソンは法人化されたが、とりあえず本年度は従来の運営体制で業務を進めており、理事長もあまり口出しできない状況である。

したがって、当該企画は昨年と同様、単独での開催とせざるを得ない。

#### ■プログラムについて

- ・日程は2月11日（祝）、会場は日大経済学部7号館とする。
- ・講演は帖佐氏に依頼することになり、山西氏が折衝することになった。
- ・ランニングクリニックは講師として女性の方を招いた方が、参加者が増えるのではと意見が出された。候補としては志水さん、市河さんがあげられた。次回までに野口氏が案を作成することになった。

・懇親会は従来通り、クオリティタイムで行う。

第6号議案 その他

■会員募集、年会費納入依頼について（報告・審議）

次回までに検討して、審議することとする。

■HPの整備、充実について（審議）

会員募集のためにもHPの整備が必要である。今後佐藤ゼミに担当できる学生がいるかどうか探してみる。

■ホノルルでの事業について（報告・審議）

今回ホノルルに行く高橋氏、山西氏で実施の有無および内容について検討して、次回、審議を行う。

■次回常任理事会について

次回の常任理事会は、10月25日（月）に開催する。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時20分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成22年9月27日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

佐藤文宏



議事録署名人

宇佐美彰樹



議事録署名人

野口勝宏

